

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日 平成31年 2月 28日

団 体 名	草友会		
事 業 名	美笹ハンノキ自然園復活活用事業		
対象経費	58,967 円	支 援 金 交 付 対 象 経	58,967 円
支援金額	29,000 円		

事業の目的・内容	目的 旧美笹自然園内での貴重な植生の保護と会員の植物研究および市民への植物への関心の高揚
	内容 旧美笹自然園の復活のための観察道整備、植生調査、植生保護、植物銘板の取り付け、観察会の実施

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・園の整備：腐った木道の一部整備（完成まで次年度で完成、湿地道に板端材敷）、草刈り（3回実施） ・植生保護（ウバユリ保護ネットの2か所増設、ベニバナイチヤクソウ群生地の整備） ・植生調査（植物銘板約70枚設置、植生調査はおおよそ月ごとに実施） ・観察会の実施（一般公募による合同観察会をサクラソウおよびベニバナイチヤクソウで実施そのた随意作業日の会員による観察実施） <p><詳細は別紙「平成30年度 ハンノキ会 活動実績」を参照願います。></p>
---------	--

事



植物観察会、参加者10名



ベニバナイチヤクソウ群生地整理

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>1) 植生種を本年度で530種と確定した。今後この植物種を基本に推移を観ていく。</p> <p>2) 歩道の整備がほぼ安全に通れるようになった。また、植物銘板も主なものの設置が完了して、植物園としての機能が出来上がった。これで、市による植物園としては、植物種の多様性、観察道、説明書など誇れるものになったと思います。</p> <p>3) この園はサクラソウやベニバナイチヤクソウを売りにしてきた。ウバユリも多く咲き誇っているが、鹿による害が多く、対策を実施してウバユリ畑も出来上がる予定です。</p> <p>4) 植物園内の公募による観察会を2回実施してきた。随意による個人観察（あるいは散歩）は随意みられるが、会としてはその実態を把握していない。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>園内整備はおおむね計画通り実施した。湿地地域の歩道整備は、計画の半分ほどの実施で終わった。次年度に計測して実施する。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>植物観察会をサクラソウおよびベニバナイチヤクソウに花の時期に開催したが参加者が22人と予想より少なかった。園内の整備は、本会の力でできる9割ほどが完了した。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>湿地歩道に木屑を敷く計画であったが、材木の端材に変更した。理由は、板の方が湿地効果が上がると考えと端材は無償で購入できることによる変更であった。（予算は3万円計上）。他おおむね計画通り。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>経費を削減したために、鹿害対策を増やすことができた。今年は風倒木が多かったが、歩道の安全確保のために、遅滞なく倒木を除去整理してきた。イチヤクソウ群生地の整備が実施できた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>木道の整備、歩道の整備、園の看板の新設、観察会の充実。</p>
---------	------------------------------------